

佐世保のまちに自信と誇りを持ち 魅力を伝えて 人口増加につなげましょう



6月25日、総務省が公表した令和2年国勢調査の人口速報集計結果によりますと、令和2年10月1日現在における本市の人口は243,387人で、平成27年国勢調査の人口255,439人から12,052人(4.7%)の減少となりました。人口の減少はある程度予想していましたが、改めて数字を目の当たりにして少なからず衝撃を受けました。

長崎県全体では、64,084人(4.7%)が減少し1,313,103人となり、長崎市では20,203人が減少し、その減少数は全国3位でした。また、旧軍港市の横須賀市では18,082人が減少し全国4位、同じく呉市では13,835人が減少し全国7位で、本市の減少数は全国11位でした。

この4市の共通点は、急斜面の山が海に面し、港としては良港ですが、平地が少なく斜面に住宅が密集しているため、市街地での人口集積に限りがあるということではないでしょうか。また、地形的な要因の他に、進学や県外就職による若者の転出が多いことも4市共通の人口減少の要因となっていると思います。

本市では、市外に転出した人のUターン、佐世保に興味を持っている人のIターン・Jターンを支援する移住ワンストップ窓口「させぼ移住サポートデスク」を平成28年度に設置しました。その後、「西九州させぼ移住サポートプラザ」へと名称を変え、西九州させぼ広域都市圏全域に移住支援の対象を広げるなど、積極的に移住促進の取り組みを進め、これまでの5年間で1,000人近くの方が本市に移住してきました。転出者の数には遠く及びませんが、移住サポートプラザがなければ、人口減少はさらに拡大していたと思いますので、移住促進の取り組みには一定の効果があり、その役割はこれからますます重要になっていくものと考えています。

この移住促進の新たな取り組みとして、7月4日(日)、一般社団法人「させぼラボ」と連携し、古民家をリノベーションしたお試し住宅(まちなか滞在拠点)「SASEBO to connect(サセボ・ト・コネクト)」を四ヶ町アーケードに近い島地町に開設しました(詳しくは本紙19ページをご覧ください)。お試し住宅は、これまで郊外などに設置していましたが、まちなかでのお試し移住体験やワーケーションを望む声が数多く寄せられており、その声に応える形でこのたび設置することにしました。

本市は、海や山が近くにあることによってアウトドアが楽しめ、新鮮な海の幸・山の幸を味わうことができます。また、観光資源や歴史遺産にも恵まれ、人口集積も一定あることから、教育、文化、スポーツ施設も充実し、商業施設についてもアーケード街や大型商業施設の集積もあります。さらに、有効求人倍率は、平成27年1月以来76ヶ月連続して1以上を維持しており、直近の月でも1.19と全国平均を上回っています。加えて、地震などの災害が少ないなど、生活するために最適な条件が整っていると言われています。

人口増加のため、まずは、市民の皆さまが佐世保のまちに自信と誇りを持ち、市外に住む家族や親戚の皆さんに、佐世保での生活をお薦めいただきたいと思っています。そして、一人一人がSNSなどを活用して佐世保の魅力を伝え続けることの積み重ねが、人口減少に歯止めをかける大きな力になるのではないのでしょうか。

次の国勢調査において、人口の自然減はやむを得ないかもしれませんが、佐世保に移り住む人が増えることで社会増に転じることができるよう市民の皆さんと行政が一体となって努力していきましょう。

佐世保市長 朝長 則男

徳育通信 112
聞いて「徳」する話 73
思いを行動に移す親切心

私がバスで登校していた時の出来事です。

同級生数人とバスに乗り、学校の最寄りのバス停で降りた時、友人の一人が傘を置き忘れてきたことに気が付きました。バスの扉が開まり、傘を取りに戻ろうと諦めかけていたその時、再び扉が開き、友人の傘を手に持った男性が降りてきました。その男性が降りるとバスは走り去ってしまいました。

男性はそのバス停で降りる予定はありませんでしたが、傘が置き忘れられていることに気付く、「届けなければ」と思い、とっさにバスを降りたそうです。男性の親切心あふれる行動にとっても感動して、心が温かくなりました。

(市内学生)

佐世保徳育推進会議
☎23・2856

(聞いて徳する話を随時募集しています。応募方法など詳しくはお尋ねください)

佐世保の酪農(乳製品等)



本市の酪農は、大自然に囲まれた中山間地域を中心に営まれています。なるべく牛にストレスをかけないように飼養環境と自家生産の餌を中心に与えるなど、1頭1頭丹精を込めて、愛情たっぷりに飼育されています。その後、愛情をかけて育てた牛から搾られる生乳を使った加工品の生産や販売が行われています。

「さとむら牧場」では、国見山系の山間に牧場を有し、きれいな空気と水に恵まれた環境が整っており、放し飼い方式によるストレスフリーな環境で牛を育てられています。自家製の餌にこだわり、牛たちが本来持っている能力を最大限引き出せるような飼育が行われており、特に、朝に搾った牛乳をその日のうちに加工して作るチーズは、さとむら牧場のこだわりが詰まっています。フレッシュチーズなので、そのまま食べてももちろんおいしいですが、焼くとチーズが伸び、そのまま食べる食感とはまた違う味わいになります。

また、「ミルクウェイファーム(山中牧場)」でも、餌や飲み水にこだわり、徹底したストレスフリーの環境で育てられています。中でも自家牧場の搾りたてミルクをベースに、地元で採れた緑茶や旬の野菜や果物を使ったジェラートは、コクがあるのにさっぱりとした後味でしつこくないのが特長です。

購入可能場所 【さとむら牧場商品】さとむら牧場(☎46-1809)、柚木よかもん市(☎46-2515)【ミルクウェイファーム商品】ミルクウェイファーム(☎46-1235)、わくわくふれあい市(☎38-4386)

☎農業畜産課 24-1111

人の動き(7月1日現在)

- 総人口 241,284人(前月比-233人)
男性 114,497人(-136人)、女性 126,787人(-97人)
- 世帯数 104,867世帯(前月比-40世帯)
- 6月中の動き
転入 432人、転出 535人、出生 143人、死亡 273人

SASEBO de ENGLISH

市内の名物や名所を題材に、普段の生活の中で使える簡単な日常英会話をお知らせします。今回は「佐世保駅」を題材にした会話です。

- Emily I wonder where to go.
(どこに行こうかな～)
- Nahoko Do you need a hand?
(何か手伝おうか?)
- Emily I'm wondering where to go.
(どこに行こうか迷ってるの)
- Nahoko Follow me!
(ついて来て)
- Nahoko Try using this.
(これを使ってみて)
- Emily This is convenient!
(これは便利だね)

広報テレビ番組「キラっ都させぼ」放送スケジュール
第1土曜 NBC 9:25～9:30 KTN 11:45～11:50
第2土曜 NCC 16:25～16:30 第2日曜 NIB 6:30～6:35
第3土曜 NBC 9:25～9:30 KTN 11:45～11:50
第4土曜 NCC 16:25～16:30 第4日曜 NIB 6:30～6:35
毎週日曜 TVS 18:55～19:00

※上記内容を1カ月先行して放送しています。

※「キラっ都させぼ」と文字情報の「させぼ市政だより」は週替わりで放送しています。



※YouTube版はこちらからどうぞ。

避難所におけるペット同行避難

本市では、佐世保市内3カ所の地区コミュニティセンター(世知原地区、清水地区、三川内地区)を避難所として開設する際に、一般の避難者の方に加えて、ペットの同行避難を受け入れることが可能になりました。

※6月号では4カ所の予定でしたが変更になりました。

☎生活衛生課 24-1111